バトル 1　投下資本利益率と残余利益による事業部の業績評価

Level：★☆☆☆☆

【解答欄】

（設問 1）

	甲事業部長	乙事業部長
①投下資本利益率		
②残余利益		

（設問 2）

	甲事業部	乙事業部
投下資本利益率		

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 2　投下資本利益率と残余利益による事業部長の業績評価（１）

Level：★☆☆☆☆

【解答欄】

（設問１）

	フィットネス	デイサービス	美容院	合計
(a)				
(b)				

（設問２）

	フィットネスの投資案	美容院の投資案
社長の判断	（　する　・　しない　）	（　する　・　しない　）
各事業部長の判断	（　する　・　しない　）	（　する　・　しない　）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 3　投下資本利益率と残余利益による事業部長の業績評価（２）

Level：★☆☆☆☆

【解答欄】

（設問１）

法人営業部	個人営業部

（設問２）

Copyright © AAS All rights reserved.

（設問３）

資本コスト率（　　）％を（　　）回る（　　）％の予想利益率が確保できる投資案ａは、全社的には採用が望ましいが、事業部業績に関心のある法人営業部部長にとっては魅力がない。なぜなら、投資案ａを実行すると、法人営業部の投資利益率が現行の（　　）％から（　　）％に（　　）するからである。

一方、投資案ｂは個人営業部部長にとっては魅力的である。なぜなら、投資案ｂを実行することで、投資利益率が現行の（　　）％から（　　）％に上昇するためである。ただし、これらの意思決定は全社的な最適化とは一致（　　）。

全社的な立場では、各事業部の現在の投資利益率の水準に関わらず、資本コストを上回る投資案は採用され、下回る投資案は棄却されるべきである。しかし、事業部長の業績評価指標を投資利益率に設定しているため、事業部長は自事業部の利益率を上げることに注力する。その結果、たとえ全社的利益を生み出す投資であっても自事業部の利益率を下げる投資案を採用しない可能性があり、全社的な（　　）を招く恐れがある。このような行動は、全社最適に対して（　　）と呼ばれる。

業績評価の指標としては、投資利益率の他に（　　）がある。投資利益率は投資額に対する利益額の割合を示す（　　）であるのに対し、残余利益は資本コストをいくら上回るかを示す（　　）である。全社的利益と事業部利益は目標整合性の観点から対立することがある。

事業部長の業績が（　　）で評価されるならば、法人営業部部長も納得し、投資案ａの採用に積極的になるであろう。なぜなら、（　　）は、現在の（　　）千円から（　　）千円に増加するからである。

したがって、改善策としては、事業部長の関心を（　　）から（　　）に向けさせることが考えられる。事業部長の業績評価に、資本コストを上回る利益額を示す（　　）を採用することが望ましい。これにより、全社的な利益目標と事業部の利益目標の整合性を確保できる。

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 4　品質原価計算（基礎）

Level：★★☆☆☆

【解答欄】

（設問 1 ）

①　予防原価	
②　評価原価	
③　内部失敗原価	
④　外部失敗原価	

（設問 2 ）

(a)				－
(b)	ア		イ	
	ウ		エ	
	オ		－	－

（ア、イおよびウ、エは順不同）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 5　品質原価計算（差額原価分析）

Level：★★☆☆☆

【解答欄】

（設問 1 ）

① 差額予防原価	
② 差額評価原価	
③ 差額内部失敗原価	
④ 差額外部失敗原価	

（設問 2 ）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 6　差額原価収益分析を考慮した設備投資の経済性評価

Level：★★★★☆

【解答欄】

（設問 1 ）

(a)		－
(b)		

（設問 2 ）

(a)		－
(b)		

（設問 3 ）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 7　セールス・ミックスの最適化を考慮した設備投資の経済性評価

Level：★★★★☆

【解答欄】

（設問 1 ）

(a)	
(b)	
(c)	

（設問 2 ）

(a)	
(b)	
(c)	

（設問 3 ）

(a)	
(b)	
(c)	
(d)	

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 8　不確実性を考慮した設備投資の経済性評価

Level：★★★☆☆

【解答欄】

（設問 1 ）

（設問 2 ）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 9　不確実性を考慮したプロジェクト評価

Level：★★★☆☆

【解答欄】

（設問１）

１年目	２年目	３年目	本投資の期待値

（設問２）

（設問３）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 10　不確実性を考慮した段階的意思決定

Level：★★★☆☆

【解答欄】

（設問 1 ）

（設問 2 ）

（設問 3 ）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 11　延期オプションを考慮した設備投資の経済性評価

Level：★★★★☆

【解答欄】

（設問 1 ）

(a)		－
(b)		

（設問 2 ）

(a)		－
(b)		
(c)		

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 12 事業部制組織における全社的利益の最適化（市価基準）

Level：★★★★☆

【解答欄】

（設問１）

- 内部振替取引によるＢ事業部の差額【利益・損失】は（　　）千円である。
- 全社的な差額【利益・損失】は（　　）千円である。
- したがって、Ｂ事業部はこの内部取引を【受け入れる・受け入れない】と判断するだろう。この判断は全社的に【望ましい・望ましくない】ものである。

（設問２）

- 内部振替取引によるＢ事業部の差額【利益・損失】は（　　）千円である。
- 全社的な差額【利益・損失】は（　　）千円である。
- したがって、Ｂ事業部はこの内部取引を【受け入れる・受け入れない】と判断するだろう。この判断は全社的に【望ましい・望ましくない】ものである。

（設問３）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 13　事業部制組織における全社的利益の最適化（原価基準）

Level：★★★★☆

【解答欄】

（設問１）

- 内部振替取引によるＢ事業部の差額【利益・損失】は（　　）千円である。
- 全社的な差額【利益・損失】は（　　）千円である。
- したがって、Ｂ事業部はこの内部取引を【受け入れる・受け入れない】と判断するだろう。この判断は全社的に【望ましい・望ましくない】ものである。

（設問２）

- 内部振替取引によるＢ事業部の差額【利益・損失】は（　　）千円である。
- 全社的な差額【利益・損失】は（　　）千円である。
- したがって、Ｂ事業部はこの内部取引を【受け入れる・受け入れない】と判断するだろう。この判断は全社的に【望ましい・望ましくない】ものである。

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 14　資金調達方法の違いが正味現在価値に与える影響分析

Level：★★★☆☆

【解答欄】

（設問 1 ）

（設問 2 ）

(a)	
(b)	

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 15　ＦＣＦモデルを用いた企業価値評価、買収の妥当性の検討

Level：★★★★★

【解答欄】

（設問１）

（設問２）

Copyright © AAS All rights reserved.

バトル 16　企業価値評価と買収後の貸借対照表への影響分析

Level：★★★★☆

【解答欄】

（設問１）

（設問２）

企業価値	
株主資本価値	

（設問３）

①　2 億円分の新株発行の場合		②　1.3 億円分の新株発行の場合	
(a)		(a)	
(b)		(b)	
(c)		(c)	

（設問４）

合併後 D 社　貸借対照表

（単位：千円）

流動資産 固定資産	流動負債 固定負債 資本金等 利益剰余金
資産合計	負債・純資産合計

Copyright © AAS All rights reserved.

（設問 5 ）

Copyright © AAS All rights reserved.